

# 令和2年度学校関係者評価

中央歯科衛生士調理製菓専門学校 歯科衛生学科

令和2年度学校関係者評価委員 令和3年3月26日(金)10:00～

- 保護者 大塚真弓 様 (歯科衛生士科2年生大塚理誇さんの保護者)
- 企業関係者 汐見久美子 様(しおみ歯科医院院長)
- 他校関係者 塚口公美子 様(中央医療健康大学校 歯科衛生学科学科長)

## 1. 教育理念・目標

| 【自己評価結果】 |                             | 平均 |
|----------|-----------------------------|----|
| 1        | 教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。     | A  |
| 2        | 教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。 | A  |
| 3        | 教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。 | A  |
| 4        | 組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。      | A  |
| 5        | 鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。   | A  |

### 【現状の問題点】

特に問題はないと思われる。

### 【改善のための方策】

3については、朝礼での唱和がなくなってしまったことが原因と考える。  
(確認テスト10点満点中1年生9.48点、2年生8.03点で2年生は昨年よりも下がっていた)  
来年度は、日直が読むのではなく、全員で一人ずつ読んでいくことにする。  
4については、コロナ禍で行事等が実行出来なかったためである。今年度はそれも踏まえて目標設定をしていく。

### 【関係者評価】

3について、毎朝朝礼の際に全員での唱和をしていたが、コロナの関係で現在は行っておらず当番のみ行っている。浸透しているかのチェックを行うために確認テストを実施しているが、結果は昨年より下がっている。次年度も全員での唱和は難しいと思われるので、当番ではなく1人ずつ全員が唱和するようにしていく。

4については実習が実行できなかったことが考えられる。今年度はそれを踏まえて設定したい。

塚口先生:確認テストを行っているとのことだが、どのような内容のものか。

竹原:最初はそのまま全文を書かせていたが、あまりに内容がいろいろになってしまったので現在は穴埋めにして確認している。理念や目標は教室内に掲示することと声に出すことで意識させている。浸透できているかがわからないのでテストをして確認することにした。

汐見先生:国試にはかかわらないが、歯科衛生士としてのプライドになること。歯科助手とは違う、歯科衛生士として根管となるもの。小さいころ耳にしたものが残っているのと同じように、何度も聞くことで頭に残る。歯科衛生士として生きていくうえで重要だと感じた。

| 2. 学校運営  |                            |    |
|--|----------------------------|----|
| 【自己評価結果】   |                            | 平均 |
| 5  | 目標を達成するための事業計画が策定されているか    | A  |
| 6  | 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。  | A  |
| 7  | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 | A  |
| 8  | 就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。    | A  |
| 9  | 組織内の連携は適切に図られているか。         | A  |
| 10   | 上司の指示は適切にされているか            | A  |
| 11   | 上司は提案を受け入れてくれているか          | A  |
| 12   | 職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。   | A  |
| 13   | BSCは適切に活用されているか。           | A  |
| 【現状の問題点】   |                            |    |
| 特に問題はないと思われる。  |                            |    |
| 【改善のための方策】   |                            |    |
| オンライン授業に慣れていない点で、今年度は改善する必要がある、教員もオンラインについて更に勉強していく努力をする。  |                            |    |
| 【関係者評価】  |                            |    |
| 7が低い。オンラインのための設備も整ってきたが、行う側の教員も慣れていないところがある。今後は勉強する努力をしていきたい。<br>汐見先生:リモートの授業を行い、学生がどのくらいわかっているか不安だったが、2回目からは顔が見えることもあり様子が分かって安心した。学校が始まってからは学生が静かでいつもと様子が違うように感じた。学校に登校し、ほかの学生と一緒に勉強することで影響を受けることも多い。みんなと学ぶことが大事。教室で授業を受けることの大切さを感じた。 |                            |    |

| 3. 教育活動  |   |    |
|--|---|----|
| 【自己評価結果】   |   | 平均 |
| 13   | 授業評価の実施・評価体制はあるか  | A  |
| 14   | 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                    | A  |
| 15   | 資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。                                    | A  |
| 16   | 資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。                                | A  |
| 14   | 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか | A  |
| 15   | 目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。                          | A  |
| 16   | 職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか                            | A  |
| 17   | シラバスは十分に検討し作成されていたか。                                    | A  |
| 18   | シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。                             | A  |
| 19   | 教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか                              | A  |
| 20   | 十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。                                | A  |
| 24   | 学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。                            | A  |
| 【現状の問題点】   |   |    |
| コロナ禍であったが、特に問題はないと思われる。  |   |    |
| 【改善のための方策】   |   |    |
| 20については、コロナ禍で行事自体を行えるか分からなかったという意味で低くなっている。今年度は昨年ともに対処ができると思われる。   |   |    |
| 【関係者評価】  |   |    |
| 20が低い。行事が行えるかわからなかったという意味で下がっていると考えられる。今回の経験をもとに対処ができると思う。<br>大塚様:研修旅行がなくなってしまったことはとても残念がっていた。友達と話すことも少なくなってきたから、気分転換の機会がないのは残念。<br>竹原:ホテルのキャンセル料がかかるまで待つてはみたが、やはり厳しい状況であった。今後はなるべくできるものは実施していきたい。<br>塚口先生:本校も同じ。旅行関係は全てできなくなっている。1泊や日帰りにするなど検討していきたいと考えている。 |   |    |

|   |                |    |
|---|----------------|----|
| 4. 学修成果   |                |    |
| 【自己評価結果】  |                | 平均 |
| 25  | 就職率の向上が図られているか | A  |
| 26  | 退学率の低減が図られているか | A  |
| 【現状の問題点】  |                |    |
| 特に問題はないと思われる。   |                |    |
| 【改善のための方策】  |                |    |
| 26については、1年生はコロナ禍で1週間しか登校していないため自宅待機中に別の道を考える時間が出来てしまったようである。またコミュニケーションをとることが出来ず、友人関係が希薄であったことも原因であった。今年度は感染に留意しつつオリエンテーションでもコミュニケーションをとるようにした。 |                |    |
| 【関係者評価】   |                |    |
| 26に関して、1年生は1週間登校して5月末までオンラインの授業となったことがとても影響していると感じる。登校する時期には他にやりたいことができたと言っていた学生がいた。友人関係が希薄なため、休校明け登校したときに友達関係が理由で休学したいという学生もいた。                |                |    |

|   |  |    |
|---|--|----|
| 5. 学生生活支援   |  |    |
| 【自己評価結果】  |  | 平均 |
| 27  | 学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。         | A  |
| 28  | 各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。        | A  |
| 29  | 防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。 | A  |
| 30  | 進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。               | A  |
| 28  | 中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。         | A  |
| 【現状の問題点】  |  |    |
| 防犯カメラを設置した効果が出ているようである。   |  |    |
| 【改善のための方策】  |  |    |
| 27については、前期にコロナ禍で遠隔授業であったため、学生面談が出来なかったため低くなってしまった。また、カウンセリングの先生には気軽に相談できるように1年生の講義(ストレスマネジメント)はそのままに、2・3年生にも挨拶をしていただく。<br>塚口先生:4, 5月はほとんど会えていない。6月から登校してきたが反応は静かだった。学生はマスクもしているので顔も覚えづらい。面談も気を付けてまめに行っていた。今後マスクは必須になると思う。面談も早い時期に実施したいと考える。<br>竹原:新入生オリ、密に行った。入学前に友達を作っていた。<br>大塚様:仲がいいので楽しい。どのことも話せると言っている。<br>塚口先生:縦のつながりはあるのか?<br>竹原:入学後1か月くらいして球技大会や合同実習を行っている。縦割りで班を作っているので一緒にできると仲良くなれているいろんな情報を仕入れることができているように感じる。今年は球技大会は行わず、食事会のみであった。 |  |    |
| 【関係者評価】   |  |    |
| 29に関して、本校は1Fには職員が誰もいない。自動ドアが付いたことでだいぶ安心感は増したと感じる。裏口にはいつも鍵がかかっているが、更衣室で荷物がなくなったことがあった。学外の人が入ることがあったらと思い、防犯カメラを付けた。そこからはそのようなことは何も起こっていない。<br>27についてがカウンセリングの先生がいて改善されている。面談の回数は休校だった時期もあり少なくなっている。カウンセリングの先生には今後各教室に挨拶しながら回ってもらいたい。  |  |    |

|  |                                  |    |
|--|----------------------------------|----|
| 6. 教育環境  |                                  |    |
| 【自己評価結果】   |                                  | 平均 |
| 32   | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | A  |
| 【現状の問題点】   |                                  |    |
| 電力の問題に関しての検討が必要である。  |                                  |    |
| 【改善のための方策】   |                                  |    |
| 来年度はクールビズの実習着に変更したり、検討していく。  |                                  |    |
| 【関係者評価】  |                                  |    |
| 汐見先生:1年生の教室は日当たりが良く、カーテンを閉めている。しかし、風が吹くとカーテンが顔にかかってしまう。休み時間にしっかり換気をして、授業中は閉めるようにしてはどうか。また、お弁当を食べるのも慣れてくると話しながら食べているのが見受けられた。ニュースも気になってみていたが、注意したほうが良いと感じた。 |                                  |    |

| 7. 学生の受け入れ募集   |                                      | 平均 |
|--|--------------------------------------|----|
| 【自己評価結果】   |                                      |    |
| 33   | 学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。 | A  |
| 34   | 入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。  | A  |
| 35   | 体験入学の時期、回数、内容は適切か。                   | A  |
| 36   | 入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。                  | A  |
| 特に問題はないと思われるが、学生募集の努力は続けていかなければならない。   |                                      |    |
| 【改善のための方策】   |                                      |    |
| 33、36については、来年度は、一般考査の開始を早めることにした。35については、来年度のOCのOG講話の時期を変更したり、内容を変更する。OCの内容について、新入生アンケートを行って検討していきたい。                          |                                      |    |
| 【関係者評価】  |                                      |    |
| 33、36について最近是一般考査の受験がなくなっている。併願希望の学生が多いため、来年度からは一般考査を早めに実施し、必ず受験できるようにしたい。体入もいろんな学校が力を入れている。広報がいろんな案を出してくれているので、それをもとに改善していきたい。 |                                      |    |

| 8. 財務   |                                     | 平均 |
|---|-------------------------------------|----|
| 【自己評価結果】  |                                     |    |
| 37  | ・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか       | A  |
| 38  | ・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか | A  |
| 【現状の問題点】  |                                     |    |
| 適切な予算作成と執行で年々良いものとしていきたい。   |                                     |    |
| 【改善のための方策】  |                                     |    |
| 37については、納入基盤を安定させるためにガイダンス等は広報の方に協力していただきつつ、学生を集める努力をしていく。  |                                     |    |
| 【関係者評価】   |                                     |    |
| 37の学費納入基盤については学生募集が大きく関わっている。遠方の学校でのガイダンスは教員が一日がかりとなってしまふ。広報の方にも協力していただき学生募集に努めたい。38の予算については全員で努力している。今後も続けていきたい。 |                                     |    |

| 9. 法令等の遵守   |                              | 平均 |
|---|------------------------------|----|
| 【自己評価結果】  |                              |    |
| 39  | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか   | A  |
| 40  | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか        | A  |
| 41  | 個人情報保護法を遵守しているか。             | A  |
| 42  | 各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。 | A  |
| 特に問題はないと思われる。   |                              |    |
| 【改善のための方策】  |                              |    |
| 個人情報については、今後も科内全体で保護に努めていく。   |                              |    |
| 【関係者評価】   |                              |    |
| 個人面談で把握していきたい。<br>塚口先生:個人情報の保護について、臨床実習のときはどのように対応しているか。<br>竹原:臨床実習時には学生はメモを取っている。患者さんにとってはみられているように感じる人が多いので、見学をする際にはメモを取る場所等気を付けさせたい。 |                              |    |